

Solan Primary School

4th grade news letter

Venture

Fourth

2023. Nov. 14

高知県四万十町からのお手紙②

続いて、前田先生からのお手紙を紹介します。

前号の野村先生もそうですが、お便りの中に「喜び」や「感激」があふれていることが伝わってきます。



先日は見学ありがとうございました。非常に参考になる部分がたくさんあり、終始感銘を受けていました。高知から愛知まで来た甲斐がありました。そこで、このレポートで参考になったことや気づいたこと、感じたことなどについてまとめさせていただきます。

【教室環境について】

瀬戸 SOLAN 小学校では、階ごとに廊下の色が違い、また、ヨギボーのクッションがいたるところに置いてありました。子どもたちがリラックスできるようにいたるところに置かれているのだと思いました。また、全校児童に一人一つ、仮眠ができるグッズ（もしかしたら違うかもしれませんが、）が階段の端に置かれており、児童がリラックスできるようにされているのだと思いました。また、それぞれの教室で机の配置が違っていたり、5年生は1クラスだけれども空き教室を使用してリラックスできる空間を作っていたり、子どもたちが安心して学校に通えるような工夫がされていて、素晴らしいと思いました。

また今回は、4年生の教室を見学させていただきました。通常、私の学校みたく、教室の出入り口にはドアがあるものだと思っておりましたが、ドアはなく、カーテンで閉じられるようになっておりました。しかも、そのカーテンは防音となっており、非常に感銘を受けました。また、教室の周りにはホワイトボードが設置されており、そのホワイトボードには、第3クオーターの目標が書かれていたり、子どもたちが暗唱できたものを書いていたり、ホワイトボードいっぱい書かれてあったのもすごいと思いました。また、椅子の下にお道具箱があることにより、必要なものがすぐに出せることも考えられていると思いました。子どもたちが自発的に動ける工夫がたくさんされていると感じ、自校に戻ったら、まずお道具箱の配置を考えようと思いました。

【子どもたちについて】

4年生の子どもたちは、自発的に動ける子たちが多いと感じました。渡辺先生にもお話をさせていただきましたが、休み時間終了間際の「(休み時間が)あと2分だよ。タブレット終了だよ」や、地図帳で地名を探すときに間違えてしまった児童に対して「ドンマイ」「成長しているよ」、授業中の「書く雰囲気作ろう」など、要所での声掛けが、見学を通して一番印象に残りました。また、自己紹介をしてくれたときも、しっかりと自分の目を見て話して

くれる子が多いことも印象に残りました。また、社会の災害の授業では、歌詞に隠された主題が一体何かという、大人でも難しい問いに対して、一生懸命考えて導き出そうとする姿、つまり、あきらめない姿にも感銘を受けました。私の受け持っている5年生は、わからない問題があったら、「やってみよう」ではなく「わからん、無理ー」などの言葉をすぐに発してしまいます。実際に落ち着いて考えれば解けるような問題でも、そのようなことに陥ってしまいます。子どもたちの質の高さが見受けられました。

また、挨拶もしっかり徹底されていると思いました。通学路で歩いている途中、児童が「おはようございます！見学の方ですか？」と声を掛けてくれました。しかも1年生の児童が声を掛けてくれました。とても感動しました。私の学校では挨拶がなかなか定着しないので、SOLAN 小学校の児童を見習ってもらいたいと感じました。総合的にみて、とても自立しており、笑顔にあふれた子どもたちだと感じました。

【授業スタイルについて】

最初は午前中だけの見学の予定でしたが、午後も見学させていただけたこと、本当に感謝しております。ありがとうございました。1時間目のモジュールの時間で、漢字や割り算の筆算や数の計算を勉強していました。そこで、子どもたちが漢字の書き順を言いながら漢字を書いていました。書き順を言いながら漢字を書くスタイルは見たことがなかったので、感動しました。また、割り算の筆算では、きれいさ重視ではなく、速さ重視でプリントを行っていたのも、新しいスタイルで驚きました。そして、国語辞典を文具のように扱っている姿も、一見当たり前のように思えますが、やってみようと思えば実は難しいことなので、驚きました。作文を原稿用紙に書く時間では、作文を立てて書く子と、座って書く子がいましたが、あれはなぜだったのでしょうか。レポートでの質問すみません。どうしても気になってしまいました。また、100玉そろばんのペースが速く、子どもたちはついていけるかと思いましたが、そんな心配もなく、ペースに合わせてついていけたのがすごいと感じました。私のクラスにも100玉そろばんを取り入れようかと思いましたが、姿勢についても、子どもたちはとても姿勢がいいと感じました。「立つときも座るときも腰が大事」とおっしゃっていたこと、自校に帰って取り組んでいます。私のクラスは姿勢の悪い子たちが多いので、実践してみたらとても効果があり、非常に感謝しております。

やはり、探求の授業に惹かれました。子どもたちが調べたいことについ

て、ループリックをつけながら調べていく方法がとても印象に残りました。自分で調べただけではなかなか限りがあるので、担任の先生だけでなく、他の教職員、さらには保護者サポーターもいて充実した調べ学習ができていたと感じました。

また、SOLAN 小学校の柱が、「ICT」「英語」「探求」ということで、その柱を大切にされているんだと感じました。

【先生対子どもについて】

要所での先生の声掛けが非常に印象的でした。直しをしている児童に対して「間違えた問題を解くときに賢くなる」という言葉がけをされていて、確かにそうだと感激を受けました。また、ささいなことですが、子どもたちが先生にプリントを持ってきて、合格したらハイタッチをする姿も僕自身ができていなかったことなので、非常にいいなと感激しました。子どもたちに対してなぜそう思ったのか、問い返しもすごく参考になりました。

【その他】

先生とのお話の中で、「子どもたちが深く考えられるようになるにはどのようにするか」というお話が合ったかと思います。たしかに、挨拶ひとつ取っても、「挨拶が大切だからやりなさい」と言ったところで挨拶がよくなるとは限りません。そこで、どのようにしたら子どもたちの胸に響くか、ということを考えなければならないと思いました。私も、子どもたちの胸に響く伝え方を模索しながら、子どもたちとかかわっていきたいと思いました。

1日、本当にありがとうございました！！

四万十町立田野々小学校 5年担任 前田 勝哉

みんなにとっては何気ない授業シーンが、このように見た人にたくさんの感動を与えたことが、お便りからもしかと伝わってきます。

全国どこの学校の先生が見ても、既にそのようなクラスのレベルになってきていることは間違いありません。みんなの成長が私も本当に嬉しいです。

☆↓読者ページはこちらから↓☆ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcipcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

